

## ▲△▲ 冬山・雪山シリーズ 第2回「赤城山」(会山行) ▲△▲

### お山は霧氷の花盛り、そして…

(報告) TM

◎山行日：2019年12月21日(土)

◎メンバー：FT(L)、FJ、TM

冬山・雪山シリーズの第2回、当初は安達太良山の予定だったが、宿泊予定のくろがね小屋が満員で予約が取れず、1泊2日の谷川岳に変更となっていた。ところが日曜日の天気予報が芳しくなく、検討した結果、土曜日日帰りでも上州武尊山に再変更となった。

朝6時半、八王子駅に集合した私たちは、ナビを武尊山近くのスキー場に設定し、関越自動車道を北上した。群馬県に入りSAで運転手交代。その2-3分後、エンジンから小さな聞きなれない音がして、急にスピードが落ち始めた。左側に車線変更し、3人で改めて耳を澄ます。やはり変だ。次のSAに入って一呼吸。何が起きているのかわからない。このまま山に行かずに帰るか、整備場を見つけて一旦診てもらうか。FJさんがメーカーの整備場を探してくれたが、時間が早すぎて開くまで1時間以上待たなくてはならない。

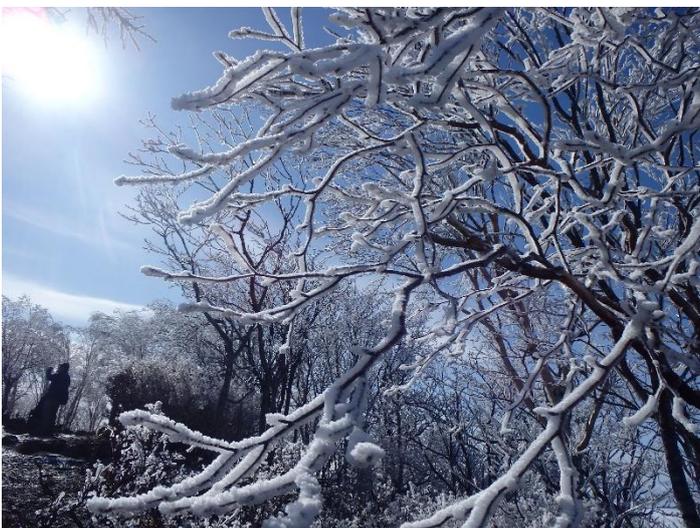
「赤城山にしようか。赤城山ならすぐそこだよ」

FTさんが代替案を出してくれた。1時間待って診てもらったところで武尊山は無理そうだし、夕方には東京に帰らなければならないなら、いっそ近くの山に登ってはどうか、ということだ。

とりあえず高速を下りて、なんとなく定まらないまま車を走らせていたが、やっぱり赤城山に行こう！となり、ナビの目的地を大沼周辺に再設定した。スピードは出ないものの、スタッドレスタイヤを履いた4WDである。つるつる滑るノーマルタイヤの車を押し上げているグループを尻目に、安定して坂道を登っていく。

駐車場に車を止めて、さあ準備。FJさんはこの日下ろしたての冬靴だ。

空は雲に覆われている。黒檜山登山口に入ると、辺りはうっすらと霧が立ち込めていた。歩き始めて10分もしないうちに霧氷に覆われた木々に囲まれる。少し風が出てきて、頭上の枝の凍った霧氷がばらばらと音を立ててシャワーのように降ってきた。まるで透明な特大ビーズ。頭のとっぺんに当たって痛かったり、首の隙間に入ってひやっとしたりしたけれど、楽しい。



少しずつ霧が晴れて青空も見えてきた。氷のビーズはキラキラ輝き、風と共に降ってくる。

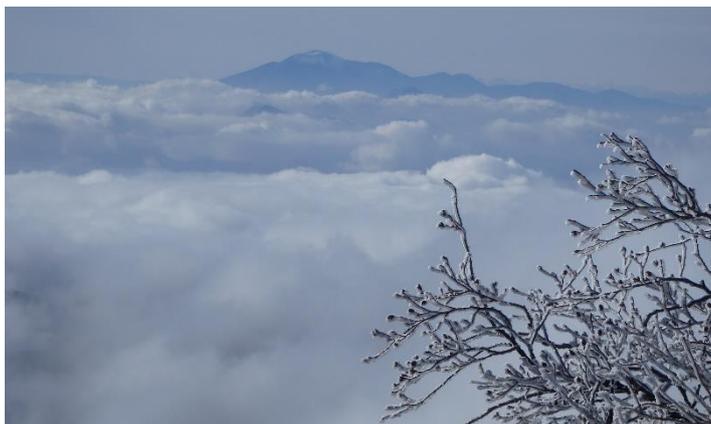
ひと登りして眺めの良い尾根に出た。正面にそびえる黒檜山も真っ白な霧氷に覆われている。眼下に大沼も姿を現した。ここで一休み。

再び歩を進めると、早々と下山してきた人が、すれ違いざまに「ブロッケン現象じゃない！」と声を上げる。えっ！と思って振り返ると、足元の森にまだうっすら残っている霧に、小さな丸い虹と自分の影。よく目を凝らさないとわからないけれど、なるほど確かにブロッケン。

やがて山頂近くの急坂では凍結箇所も出てきた。滑らないように声をかけながら登る。黒檜山と駒ヶ岳の分岐を折れると、すぐに山頂、1828m。絶景スポットまで2分と書いてある。もちろん行く。

霧氷のゲートをくぐった先の絶景スポットは開けた高台で、雲海の向こうに北東から西に、(多分ですが)日光白根山、武尊山、谷川岳、浅間山などが見えた。ここで軽く腹ごしらえする。

まだ時間があるので、駒ヶ岳に寄ることにした。少し戻って分岐を直進、雲海にアンテナ山こと地藏岳と小沼が逆光を受けて輝いているのが見える。駒ヶ岳へは一旦かなり下る。ひと汗かいた。鞍部から見上げる山肌は、木々の枝についた霧氷でまるで満開の桜のよう。駒ヶ岳山頂(1685m)で写真を撮ってまた一休み。



下山は階段の連続で一気に下りられる。舗装道路に出て20分ほど歩けば駐車場。お疲れ様でした。

思えば、安達太良山→谷川岳→上州武尊山→赤城山と変遷しまくった今回の冬山山行。それでも中止にならなかったのは、FTさんの引き出しの多さに救われたからとしか言いようがない。とは言うものの、「雪山シリーズを

やってきて雪がなかったのは初めてだなあ」と、FTさんはしみじみ。確かにアイゼンはザックにしまったままだった。

帰り道。荷物を積んでエンジンをかける。大量の白い煙を吐きながらも、車は何とか動いてくれた。が、給油のために寄ったガソリンスタンドで、

「変な音がするね。診てくかい？」

と声を掛けられピットに入れる。メカニックが頭を突っ込んで診てみると、まさかのオイル切れ。これを聞いたFTさんの頭の中は「？」でいっぱい。前回のオイル交換からまだ二千キロ程度しか走ってないし、車体をジャッキアップしてみても漏れた形跡はなし。整備はきちんとしていたのに、全く寝耳に水の故障だった。帰りは念のため高速を避け、下の道を使った。途中で再度オイルを見てもらったが、今度は問題なし。

後日、FTさんから、愛車は今回で手放すことにしたと連絡をいただいた。FTさんの車には、これまで沢山の山に連れて行ってもらった。最後は命を削りながら送ってもらったようなものだ。こんなにお世話になったのに写真1枚撮ってなかったことが悔やまれる。感謝、感謝。今まで本当にありがとう、エブリイ号！

#### 《コースタイム》

黒檜山登山口 10:20 → 猫岩 10:45 → 分岐 12:13 → 黒檜山 12:17 → 絶景スポット 12:23 (昼食) -12:55 → 駒ヶ岳 14:00 → 駒ヶ岳登山口 15:00 → 黒檜山登山口駐車場 15:20

(終)